

全校朝会 講話(4.26)

皆さん、おはようございます。

先週は1年生を迎える会があり、1年生がみんなの仲間入りをしました。会の中で話しましたが、100人の友だちが作れるよう、2年生から6年生は1年生に進んで声をかけてほしいと思います。

さて、今週で4月が終わります。そして今週の木曜日は昭和の日でお休みです。今は令和の時代、その前が平成の時代、その前にあったのが、昭和の時代です。校長先生は昭和の生まれです。昭和とはどんな時代だったのでしょうか。ここで、昭和の時代にあった懐かしいものを紹介しましょう。

今、どの家にもスマートフォンや携帯電話がありますが、昭和時代にはありませんでした。あったのは黒電話。ダイヤルを一つずつまわしてかけます。町には電話ボックス。誰かが使っていると終わるのを並んで待ちました。次に、パソコンやタブレットはありませんでした。ゲームもほとんどなく、家でゲームをできるようになったのは昭和の終わりのころにでた、ファミコンです。町でゲームができるようになった最初がインベーダーゲームでした。

時代は変わり、どんどん便利になってきました。しかし、その反対に使うのが難しくなったり、金額が高くなったりしてきました。やがて、自動車も自動運転になりそうです。人がいなくても自動車や電車、バスも動くようになるでしょう。AIが人に代わって活躍するようになり、人のやる必要がなくなってくるものもたくさんあるでしょう。しかし、人の心の中は変えることはできません。優しや思いやり、これは、AI の力ではどうすることもできないはずで、がんばろうとする心もそうです。だから、皆さんは、今学校で、友達と遊んでいる中で優しさを育てたり、勉強していく中で、挑戦する心、がんばろうとする心を育てているのだと思います。

そう考えると、学校って大切なんだな、と思うはずです。その様な気持ちをもって、今週もがんばってほしいと思います。今週が終わればゴールデンウィークです。一週間がんばりましょう。

これで校長先生のお話を終わります。